



研究者名※	高井 奈緒 TAKAI Nao	学位※	博士（フランス語フランス文学）
所属※	人間社会学部 文化学科	職名※	准教授
連絡先	takainあっとfc.jwu.ac.jp（アットマークに変換してください）		
URL			
researchmap※	https://researchmap.jp/7000001366		
研究分野※	人文学		
研究キーワード※	仏文学		
共同研究・競争的資金等の研究課題	『日記』から読み解くゴンクール兄弟における衣服と織物の表象研究(科学研究費・研究活動スタート支援・研究代表者、2012～2014年)		
社会貢献・産学官連携活動等			
受賞歴			

研究領域	ヨーロッパ文学	(SDGs)
研究テーマ※	19世紀フランスにおける写実主義・自然主義文学研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】 フランス19世紀の写実主義・自然主義文学の作家の作品(主に小説)および作品の中で繰り返し現れるテーマについて研究を行っている。バルザック、フロベール、ゴンクール兄弟、ゾラの作品を主なコーパスとしている。テーマ研究では、身体表象、とりわけ衣服の表象の研究に博士論文以来取り組んできた。主に、女性の衣服の表象の研究にこれまで力を入れてきたが、最近では男性の衣服の表象の研究に興味をもっている。フランス文学における衣服の表象は、まだ研究が少ない分野であり、バルザックやゴンクール兄弟は特にファッションにも興味があったことから、今後まだまだ掘り下げが可能なテーマだと考えている。それらのテーマを分析することで、作家個別の好みや美学だけではなく、作品が書かれた19世紀のフランスの文化・社会に対する理解を深められるような研究を目指している。</p> <p>【応用例、研究の展望】 基本的には、写実主義・自然主義文学作品を研究しているが、衣服の表象の研究を通じ、ロマン主義・象徴主義といわれる文学作品とのつながりが見えてきた。既存の文学ジャンルへの見識を刷新するような研究を目指したいとも考えている。また、作家としては、今後ゴンクール兄弟の作品研究に一層力を入れ、小説などの翻訳にも取り組みたい。</p> <p>【研究方法の特色】 まずは小説を丹念に読み込むことに重点を置いている。その上で、作家の日記、書簡、エッセイなども参考にしながら、ある単語やモチーフが作家や作品にとってどのような意味をもつのか、他の作家の作品ではそれらのテーマはどのように現れるのかを分析する。裸体や衣装の表象を考察する上で、美術、服飾関連の研究書も広く参考にしている。</p>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> ・Nao Takai, "Edmond de Goncourt et la mode féminine fin-de-siècle", <i>Cahiers Edmond et Jules de Goncourt</i>, 2019, n° 25, p. 101-113. ・Nao Takai, <i>Le Corps féminin nu ou paré dans les récits réalistes de la seconde moitié du XIXe siècle - Flaubert, les Goncourt et Zola</i>, Paris, Honoré Champion, 2013. (préface de Jean-Louis Cabanès). 等 	
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 	